

覚えておこう! キャッシュレス決済

現金を使わずに支払いができるキャッシュレス決済の利用が拡大しています。

決済のツールや支払いの形が多数あるので、それぞれの特徴を理解して使用することが大切です。現金に比べ、お金のやり取りが目に見えないため、お金を使った感覚が分からなくなったりがちなので注意しましょう。

クレジットカード

- クレジットカードの「クレジット」とは「信用する」という意味です。
- クレジットカードとはその言葉のとおり、利用する人の信用に基づいて、利用する人とカード会社の間に契約が結ばれ、カード会社が代金を立替えます。
- クレジットカードで商品等を買うことは、クレジット会社に借金しているということです。
- 「お金が無くても買い物ができるカード」ではないので、自分自身でしっかり管理しましょう。



支払いが終わるまで、商品はカード会社のものです

他人に絶対貸さないこと!!

リボ払いの仕組み

リボ払いとは、クレジットカードの利用金額や利用件数にかかわらず、あらかじめ設定した一定の金額を日々支払う方式。リボ払いの手数料は、残高に応じて毎月計算されるので、支払い額を少なく設定すると支払い期間が長くなり、手数料も高くなるので注意が必要です。

支払い回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
分割払い (3回) の場合	1万円+手数料 (洋服)	1万円+手数料 (洋服) + 3万円+手数料 (パソコン)	1万円+手数料 (洋服) + 3万円+手数料 (パソコン)	3万円+手数料 (パソコン)	なし	なし
リボ払い (日々 10,000円) の場合	1万円+手数料 洋服	1万円+手数料 洋服	1万円+手数料 洋服	1万円+手数料 パソコン	1万円+手数料 パソコン	1万円+手数料 パソコン 以降、12回目まで続く

コード決済

決済アプリを利用し、利用者またはお店がコードを読み取って支払いする。

- ストアスキャン方式
- ユーザースキャン方式



電子マネー

使い切りのカードタイプのものや、カードやスマホに繰り返しチャージして使うもの、銀行口座やクレジットカードに紐づけしているものもある。



デビットカード

預金口座に直結したカード。使ったその場で引き落とされる。

口座の残額分しか使えない。



困った時は、一人で悩まずすぐ相談 倉敷市消費生活センター

秘密
厳守

相談
無料

☎086-426-3115

8:30~17:00 月~金 (祝日・年末年始除く)

自立した大人になろう!! 18歳で成人です。



どうして成年年齢を18歳に引き下げるの?

2016年に、選挙権が18歳に引き下げられたことを機に市民生活に関する基本法である民法でも18歳を大人として扱うべきと考えられるようになりました。

18歳になったらできること

親の同意がなくても契約ができる

- 自分のクレジットカードが持てる
- ローンが組める
- 部屋の賃貸契約ができる

国家資格が取れる (公認会計士・司法書士 等)

親の承諾なしに結婚できる

民事訴訟が起こせる

10年有効のパスポートが取れる

性別変更の申し立てを行える

20歳までできないこと



お酒を飲む



タバコを吸う



競馬、競輪等の
公営ギャンブル
を行う

注意

成人すれば、自分の意思だけで契約できますが、同時に義務と責任が生じます。

正しい知識を身につけてトラブルを防ぎましょう。